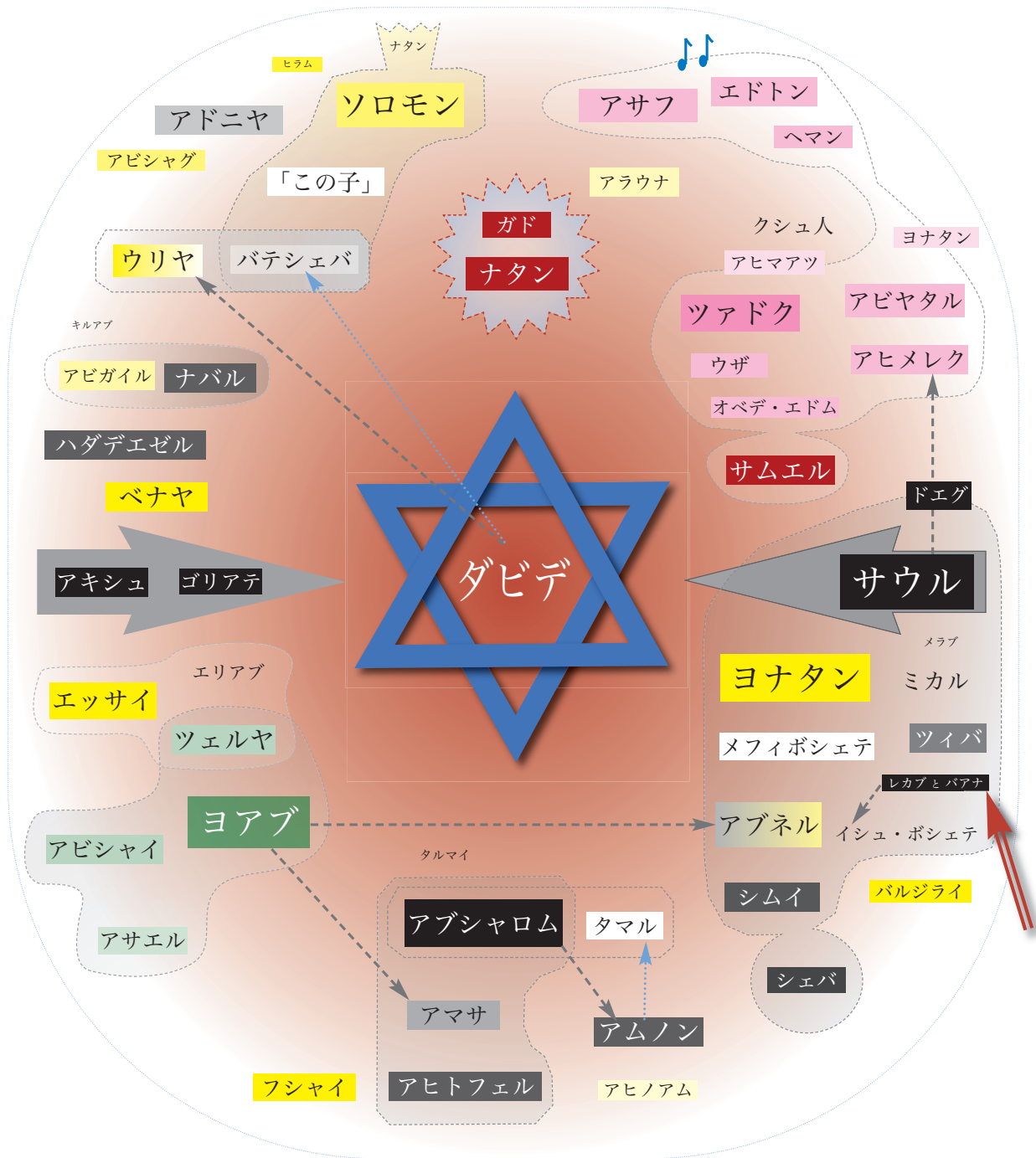


# ダビデを



取り巻く人々

## レカブとバアナについて

1. もしあなたが最近2サム4章を読んでいないなら、レカブとバアナは誰なのかわからないでしょう。彼らは他の箇所には登場せず、彼らについて知られる事はただ一つ、イシュ・ボシエテ王を殺した事です。ダビデの人物関係の図で確認して下さい。彼らはベニヤミン人であった事もその図でわかりますが、4:2でも強調されています。

2. 4章7節と11節は、彼らがイシュ・ボシエテを彼の家で、それも寝床で殺したという、むごい罪の様子を記しています。ダビデは何かで知ったのでしょうか。殺人の様子が、繰り返し記されています。

3. ダビデがどのようにイスラエル全体の王になったか、2サム1-5章を最近読んでいない人は、なぜこのようなあまり知られていない2人の兄弟の事を学ばなくてはならないのか、不思議に思うことでしょう。その理由は、ダビデを守られ力を与えられたのは主であり、彼自身でもなく他の悪人でもない事(4:9)を、彼らが証明しているからです。

4. また、4章でレカブとバアナ、1章で一人のアマレク人を裁いた事(4:10)は、ダビデの初期の頃の正義感を表わしています。彼らは明らかに悪人でしたが(4:11)、サウルと違って、ダビデは正しく裁く者でした(参照1サム22)。

5. ヨナタンの息子であるメフィボシエテの事が4:4に記されているのは、なぜ彼も殺されなかったかを、説明するためだったかもしれません。彼は9章と11章に再び登場します。

6. あなたは、レカブとバアナのようですか？もしそうならどのような面で？

## 彼らはどんな人物でしたか？

2サム4章から、レカブとバアナはどんな人物だったと言えるでしょうか？下のリストを参考にして考えましょう。彼らについてあてはまるもの、そうでないもの、部分的に正しいものなど、それぞれに印をつけましょう。そこからはっきり読み取れないものには、？をつけて下さい。その後で、右ページに彼らについてまとめて下さい。

---

兄弟 (4:2)

---

ベニヤミン人 (4:2)

---

軍隊の指導者 (4:2)

---

イシュ・ボシエテに近かった(4:2, 5-6)

---

イシュ・ボシエテに怒っていた (4:2, 10-11)

---

メフィボシエテを良く知っていた (4:4)

---

主のみこころを行なった

---

裏切り者 (4:2-6)

---

殺人者 (4:11)

---

狡猾、油断ならない者 (4:6-7)

---

捕まるのを恐れた (4:7)

---

敬虔であるように見せた (4:8)

---

悪者 (4:11)

---

イシュ・ボシエテのようではなかった (4:11)

---

報酬を求めた (4:10-11)

---

1章のアマレク人と似ている

---

ダビデによって裁かれた (4:9-12)

---

ダビデに殺された (4:12)

---

ダビデについて誤解していた (4:8-12)

---

ダビデのようではない

---

ヨアブのよう

---

サムエル記の中の重要人物

---

今日の世的な人々のよう



## レカブとバアナ

レカブとバアナは、ダビデが2サム4章の終わりで言ったように、明らかに殺人者で悪者でした。しかしこの章の一番の要点は、おそらくダビデの事だったでしょう。彼が、いかにレカブやバアナとは違っていたかです。

彼らはライバルを殺した事の報酬を求めています。しかしダビデは、イシュ・ボシェテをライバルとは考えていませんでした。サウルの家との長い戦い(3:1)は終わりました。戦いの後にアブネルを殺した(3:27)將軍ヨアブなら、この2人のベニヤミン人を誉めたかもしれません。しかしダビデはそうしませんでした。彼はこの2人と、またアブネルを殺したヨアブとも違っていました。

ダビデの考え方と行動は、彼らと違っていました。レカブとバアナは、いかにも自分たちが敬虔な者のように見せかけましたが(4:8)、ダビデは本当に神様を第一としていました。彼は、彼を全ての敵から守って王として立てたのは、主であると知っていました。しかし悪者は、自分だけでなく他の者も皆、自分の事が第一だと思っているに違いないと考えていました。だからこの2人の悪者は、ダビデについて基本的に間違った考えを持っていて、そのために自分の過ちの結果を、命をもって刈り取る事となりました。1章に出てくるアマレク人も同じことでした。ダビデは、主に油注がれた者の義務として、王国からそのような大きな罪を断ったのです(4:11)。

### レカブとバアナは...

裏切り者のベニヤミン人	悪者	自己中心的で報酬を求めた
油断ならない殺人者		1章のアマレク人のよう
捕えられる事を恐れた	で	敬虔なように見せかけた
ダビデに裁かれた	ダビデのようでない	ダビデを誤解した

残念な事に、ダビデ自身も後になって、自分の罪を隠すためにウリヤを殺させて、殺人者となりました。彼は罪のない者を、無惨な方法で殺したのです。1章から5章まで、彼は主に立てられた者として正しく裁いてきましたが、11章の大きな罪は、その築き上げてきた彼の名声を曇らせてしまいました。神様は彼を赦し、彼の命を助けましたが(12:13)、ダビデはそのために、大きな代償を払う事になりました(13章以降)。

ダビデの命は助けられたのに、レカブとバアナが即刻厳しく裁かれたのは、公平でなかったのでしょうか？それに対して、簡単な答えはありません。どう考えたらいいのでしょうか？まずダビデは純粋に主を信じる者でしたが、レカブとバアナは明らかに違いました。悔い改めたダビデに、主の赦しがありました。さらに、主はダビデの罪の故に彼を懲らしめられました。